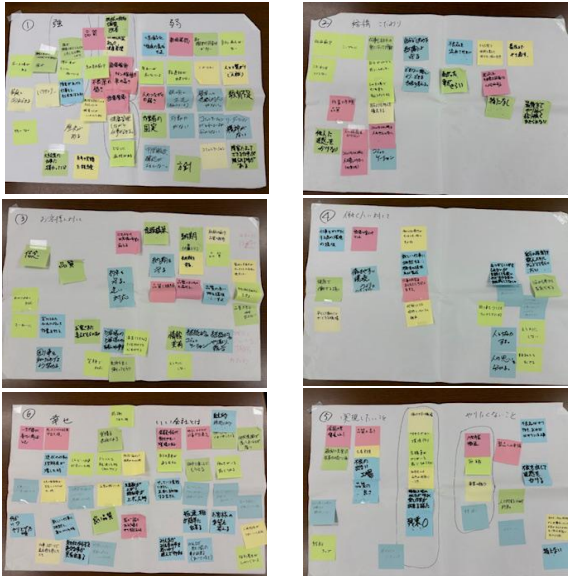


就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	琴の浦福祉工場	事業所番号	3010120289
住 所	和歌山県和歌山市毛見1437	管理者名	藤村 由華
電話番号	073-445-5722	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> ・活動場所：琴の浦福祉工場 応接室 ・実施日程：6/25、7/10、8/1、8/23、10/11 11/5、11/22、12/23、1/17、2/12 ・実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 基本的な経営の考え方や事業運営に関する知識を学ぶ。 職員が主体的に取り組む姿勢を育む。	<活動の様子> 参加メンバーで職場の現状について意見を出し合い、「どのような工場にしていきたいか」について話し合いを行った。この過程を通じて、集団で物事を決定する際には、お互いの意見を尊重することの大切さを学んだ。 最終的に、「いきいき元気 心豊かな 福祉工場」の実現に向けて取り組んでいくことを、参加者全員で確認・決定した。 
<目的> ・利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい ・利用者にとってのメリット 経営の基本的な知識を身につけることで、 仕事への理解や主体性を高める。	
<成果> ・実施した結果：研修を通じて職員同士の情報共有や意見交換の機会が増えた。 ・得られた成果：経営に関する基本的な知識に加え、業務におけるコミュニケーションの重要性を学び、協力して働く意識が高まった。 ・課題点：理解度に差がありサポート体制が必要。 また、研修と生産活動の両立が課題となった。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<意見> 研修を受けて、社内外でのコミュニケーションの質が業績や組織文化に与える影響の大きさを実感した。 コミュニケーションが円滑でないと、意図しない誤解や認識のズレが生じ、業務効率の低下を招いたり信頼関係が築けないことを実感した。 <課題> 研修時間の確保と生産活動とのバランスをとること。内容を分かりやすく伝えること。	
連携先企業（担当者）	藤村 由華

利用者からの意見・評価

・経営の仕組みについては知らないことが多かったが、研修を通じて考え方の基本を理解できた。 ・コミュニケーションの回では、相手のタイプを把握することで、より円滑なやり取りが可能になることを学んだ。 ・「業務の効率化」に関する講義では、自分が良いと思っていた方法とは異なるやり方の方が、結果的に効果が高いことに気づかされた。特に、作業をまとめて処理するよりも、完了したもののから順次次の担当者に回す方法の方が効率的であることを、研修中のワークを通じて実感した。 ・内容によっては難しく、理解が追いつかない部分もあった。
--